

オンライン（遠隔）診療を利用する場合の注意点（第1版）

1) 原則

患者は医師と十分に話し合い、計画的にオンライン診療、対面診療と検査を組み合わせ利用すること。病状が安定しないときや変化したときは、対面診療を受けること。

2) 機器利用

患者またはその家族等の支援者はインターネットと機器に習熟していること。利用前には、通信が良好に保たれる状態であるか確認すること。見にくい、聞きにくい時には遠慮なく伝えること。また、相手側の機器で同じように見え、聞こえているとは限らないので、自分の顔や声がきちんと伝わっているか確認すること。

3) プライバシー

患者のプライバシーが保たれる場所で実施すること。同室者がいる場合には医師に伝えること。

4) オンライン診療時

医師が得られる情報は対面に比べ少ないので、気になる症状などはあらかじめメモするなどして、なるべく全てを話して欲しい。患者の表情がわかるように、逆光は避け、顔を十分見せて欲しい。

5) 血圧等の測定データ

患者が血圧、体重などを測定している場合、自分で取捨選択することなく、全てを伝えて欲しい。（例：血圧測定で何度も計測して、都合の良いものだけを伝えることは避けること。）

以上。